

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 近畿日本鉄道株式会社  
 コード番号 9041 URL <http://www.kintetsu.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小林 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 泉川 邦充  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名  
 TEL 06-6775-3465

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	907,124	33.2	41,447	13.4	36,301	36.0	23,572	46.8
25年3月期第3四半期	680,801	△0.2	36,536	27.0	26,686	41.2	16,056	278.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 29,102百万円 (69.7%) 25年3月期第3四半期 17,145百万円 (57.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	13.16	12.68
25年3月期第3四半期	9.42	9.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,969,842	304,854	14.5
25年3月期	1,925,815	216,486	10.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 286,591百万円 25年3月期 198,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250,000	34.1	51,000	7.5	42,500	21.2	24,000	20.0	13.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	1,906,620,616 株	25年3月期	1,711,120,616 株
26年3月期3Q	5,952,941 株	25年3月期	7,338,177 株
26年3月期3Q	1,791,583,478 株	25年3月期3Q	1,703,818,580 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(その他の注記) .....	9
平成25年度第3四半期 決算補足資料 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益が改善し設備投資も持ち直しの動きがみられたほか、個人消費では一部に消費税引き上げに伴う駆け込み需要もみられるなど、緩やかに回復いたしました。

このような状況のなか、当社グループの第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、営業収益は、不動産業でマンションや住宅地の分譲が好調に推移しましたほか、旅行業の再編により前期末に子会社となったKN T-CTホールディングス等の売上高が新たに加わりましたため、前年同期に比し33.2%増収の907,124百万円となりました。

次に利益面におきましては、営業利益は、不動産業が増収により増益となりましたため、前年同期に比し13.4%増益の41,447百万円となりました。

営業外損益で、営業外収益は、大日本土木を新たに持分法の適用範囲に含めたことによる持分法投資利益の増により増加し、営業外費用は金利の低下による支払利息の減により減少しましたため、経常利益は前年同期に比し36.0%増益の36,301百万円となりました。

特別損益で、特別利益は、工事負担金等受入額の増加やタクシー事業再編実施に伴う負ののれん発生益のほか、近鉄百貨店における過払賃料減額訴訟の受取和解金703百万円を計上したこと等により、前年同期に比し増加しました。特別損失も、前年同期には近鉄松下百貨店の解散に伴う事業整理損の計上がありました。工事負担金等圧縮額、固定資産除却損の増加のほか、三重県四日市市の内部線及び八王子線の事業形態変更に伴い発生する損失を減損損失等に計上いたしましたため、前年同期に比し増加しました。従いまして、法人税等、少数株主利益を控除した四半期純利益は、前年同期に比し46.8%増益の23,572百万円となりました。

各報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

①運 輸

(A) 概 要

鉄軌道部門で、昨年3月からの新型観光特急「しまかぜ」運行開始をはじめ、昨年10月の伊勢神宮式年遷宮を契機とした伊勢志摩地区への積極的な旅客誘致に取組んだこと等により増収となり、運輸業全体の営業収益は前年同期に比し2.7%増収の164,545百万円となり、営業利益は、動力費など諸経費の増加はありましたものの、増収により、前年同期に比し1.5%増益の24,304百万円となりました。

(B) 営業成績

a. 当社の鉄軌道事業運輸成績表

種 別	単 位	当第3四半期連結累計期間		
		(平成25年4月～平成25年12月)	前年同期比(%)	
旅客人員	定 期	千人	257,813	△0.8
	定期外	千人	174,637	2.5
	計	千人	432,450	0.5
旅客収入	定 期	百万円	35,808	△0.8
	定期外	百万円	76,527	4.4
	計	百万円	112,335	2.7

b. グループの営業成績

業 種	単 位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成25年4月～平成25年12月)	前年同期比(%)
鉄軌道事業	百万円	118,523	2.2
バス事業	百万円	25,787	1.1
タクシー業	百万円	8,552	3.2
交通広告業	百万円	5,854	0.8
鉄道施設整備業	百万円	16,449	3.2
海運業	百万円	1,574	9.1
レンタカー業	百万円	2,344	0.1
消去	百万円	△14,540	—
営業収益計	百万円	164,545	2.7

②不動産

(A) 概要

不動産販売部門で、マンションや住宅地の分譲等が好調に推移しましたため、不動産業全体の営業収益は前年同期に比し23.1%増収の102,793百万円となり、営業利益も前年同期に比し83.4%増益の9,638百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成25年4月～平成25年12月)	前年同期比(%)
不動産販売業	百万円	60,079	20.8
不動産賃貸業	百万円	15,979	13.5
不動産管理業	百万円	31,365	34.3
消去	百万円	△4,631	—
営業収益計	百万円	102,793	23.1

③流通

(A) 概要

百貨店部門で、昨年6月にあべのハルカス近鉄本店タワー館をオープンしましたが、昨年2月末に近鉄松下百貨店を閉店したため、流通業全体の営業収益は前年同期に比し0.3%減収の275,985百万円となり、営業利益は、あべのハルカス近鉄本店タワー館の開業に伴う初期費用の増加もあり、前年同期に比し13.7%減益の1,356百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成25年4月～平成25年12月)	前年同期比(%)
百貨店業	百万円	196,389	△1.2
ストア・飲食業	百万円	80,845	2.4
消去	百万円	△1,249	—
営業収益計	百万円	275,985	△0.3

④ホテル・レジャー

(A) 概要

旅行部門で、新たにKNT-CTホールディングス等を連結したほか、ホテル部門で志摩地区各ホテルの宿泊客の増もあり、ホテル・レジャー業全体の営業収益は前年同期に比し127.0%増収の374,405百万円となり、営業利益はホテル部門での増収による増益により、前年同期に比し3.0%増益の5,263百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成25年4月～平成25年12月)	前年同期比(%)
ホテル業	百万円	37,249	5.1
旅行業	百万円	326,105	174.2
映画業	百万円	2,416	4.5
旅館・レジャー施設業	百万円	8,742	5.5
消去	百万円	△108	—
営業収益計	百万円	374,405	127.0

⑤その他

(A) 概要

ケーブルテレビ部門でのIP電話加入者増による手数料収入の増により、その他の事業全体の営業収益は前年同期に比し1.2%増収の10,211百万円となり、営業利益は、前年同期に比し36.5%増益の677百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成25年4月～平成25年12月)	前年同期比(%)
ケーブルテレビ業	百万円	7,384	1.9
情報処理業	百万円	2,392	△2.7
保険代理業	百万円	434	12.5
消去	百万円	—	—
営業収益計	百万円	10,211	1.2

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

資産について、流動資産は、現金及び預金が新株式の発行等により一時的に増加したほか、受取手形及び売掛金が増加しましたため、増加いたしました。固定資産は、有形固定資産が、阿部野橋ターミナルビル「あべのハルカス」タワー館建設等の進捗等により、減価償却の実施等による減少を差し引き増加し、投資その他の資産が、持分法投資利益の計上等により投資有価証券が増加したため、増加いたしました。従いまして資産合計では前期末に比し44,027百万円増加し、1,969,842百万円となりました。

負債について、借入金及び社債が減少しましたため、支払手形及び買掛金や、流動負債のその他に含まれる預り金等の増加はありましたが、合計では前期末に比し44,340百万円減少し、1,664,988百万円となりました。

純資産について、株主資本は、資本金及び資本剰余金が公募及び第三者割当による新株式の発行により増加し、利益剰余金が四半期純利益の計上により、前期の剰余金処分での配当、マイナスの土地再評価差額金の取崩しによる減少を差し引き増加しましたため、増加いたしました。その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金が株価の上昇により、土地再評価差額金がマイナスの評価差額金の取崩しにより、為替換算調整勘定が円高修正により、それぞれ増加しましたため、増加いたしました。従いまして、純資産合計では前期末に比し88,367百万円増加し、304,854百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、昨年11月8日に公表いたしました予想どおりに概ね推移しておりますため、平成26年3月期通期の連結業績予想の変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,483	69,614
受取手形及び売掛金	45,241	50,108
商品及び製品	14,216	14,885
仕掛品	2,324	5,207
原材料及び貯蔵品	3,142	3,334
販売土地及び建物	163,839	159,663
その他	73,916	77,688
貸倒引当金	△1,006	△3,245
流動資産合計	349,158	377,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	580,619	609,123
土地	656,367	661,801
建設仮勘定	87,460	57,619
その他(純額)	64,496	64,363
有形固定資産合計	1,388,943	1,392,907
無形固定資産		
のれん	797	30
その他	17,369	18,297
無形固定資産合計	18,167	18,328
投資その他の資産		
投資有価証券	86,258	98,729
その他	85,046	84,662
貸倒引当金	△3,212	△3,389
投資評価引当金	△987	△823
投資その他の資産合計	167,104	179,179
固定資産合計	1,574,216	1,590,415
繰延資産	2,440	2,170
資産合計	1,925,815	1,969,842

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,917	53,215
短期借入金	297,311	289,824
1年以内償還社債	78,840	111,440
未払法人税等	5,423	5,608
賞与引当金	8,011	5,563
商品券等引換損失引当金	4,347	4,313
建物等除却損失引当金	1,275	586
その他	210,484	223,615
流動負債合計	651,611	694,167
固定負債		
社債	307,840	237,120
長期借入金	592,782	575,783
退職給付引当金	12,703	12,056
役員退職慰労引当金	20	2
旅行券等引換引当金	1,015	699
その他	143,355	145,158
固定負債合計	1,057,716	970,820
負債合計	1,709,328	1,664,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	92,741	126,476
資本剰余金	27,313	61,049
利益剰余金	△3,669	5,660
自己株式	△1,797	△1,380
株主資本合計	114,587	191,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,750	5,572
繰延ヘッジ損益	642	213
土地再評価差額金	85,283	90,992
為替換算調整勘定	△4,907	△1,993
その他の包括利益累計額合計	83,769	94,784
少数株主持分	18,129	18,263
純資産合計	216,486	304,854
負債純資産合計	1,925,815	1,969,842



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで)
営業収益	680,801	907,124
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	574,142	759,356
販売費及び一般管理費	70,121	106,321
営業費合計	644,264	865,677
営業利益	36,536	41,447
営業外収益		
受取利息	191	259
受取配当金	305	926
持分法による投資利益	3,426	5,634
その他	2,005	2,435
営業外収益合計	5,929	9,256
営業外費用		
支払利息	13,114	11,772
その他	2,665	2,629
営業外費用合計	15,779	14,402
経常利益	26,686	36,301
特別利益		
工事負担金等受入額	6,590	8,594
固定資産売却益	454	174
負ののれん発生益	—	585
その他	167	1,669
特別利益合計	7,213	11,023
特別損失		
工事負担金等圧縮額	6,588	8,594
固定資産売却損	89	53
固定資産除却損	454	1,204
減損損失	518	1,812
事業整理損	845	—
その他	637	1,758
特別損失合計	9,134	13,423
税金等調整前四半期純利益	24,764	33,901
法人税等	8,043	9,995
少数株主損益調整前四半期純利益	16,721	23,905
少数株主利益	664	332
四半期純利益	16,056	23,572

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,721	23,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	2,275
繰延ヘッジ損益	226	△704
為替換算調整勘定	△24	523
持分法適用会社に対する持分相当額	243	3,101
その他の包括利益合計	423	5,196
四半期包括利益	17,145	29,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,427	28,712
少数株主に係る四半期包括利益	717	389

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年9月11日を払込期日とする公募増資及び平成25年9月27日を払込期日とするオーバーアロットメントによる株式売出しに関連して行う第三者割当増資を実施したため、第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ33,735百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が126,476百万円、資本剰余金が61,049百万円となっております。

(その他の注記)

四半期連結損益計算書関係

平成25年12月26日に三重県四日市市との間で、当社が運営している内部線及び八王子線の事業形態について、公有民営方式に変更し、同市が鉄道施設等を保有する第三種鉄道事業者、当社及び同市で設立する新会社が鉄道営業を行う第二種鉄道事業者となること、当社が同市に対して鉄道施設等は無償で譲渡すること、並びに同線存続支援として当社が同市に対して平成25年度末までに一時金を支払うことで協議が調いました。これに伴い、鉄道施設等の簿価相当額571百万円を減損損失として計上するとともに、同市へ支払う見込みである一時金800百万円を、特別損失の「その他」に計上しております。

## 平成25年度第3四半期 決算補足資料

### 収支比較表《連結》

(単位：百万円)

	当第3四半期累計 (25/12) 実績	前年同期比	
<b>売上高</b>	<b>907,124</b>	<b>226,323</b>	<b>33.2%</b>
運輸	164,545	4,357	2.7%
不動産	102,793	19,262	23.1%
流通	275,985	△856	△0.3%
ホテル・レジャー	374,405	209,433	127.0%
その他	10,211	123	1.2%
調整	△20,816	△5,995	
<b>営業利益</b> (売上高営業利益率)	<b>41,447</b> (4.6%)	<b>4,910</b> (△0.8%)	<b>13.4%</b>
運輸	24,304 (14.8%)	362 (△0.1%)	1.5%
不動産	9,638 (9.4%)	4,383 (3.1%)	83.4%
流通	1,356 (0.5%)	△215 (△0.1%)	△13.7%
ホテル・レジャー	5,263 (1.4%)	152 (△1.7%)	3.0%
その他	677 (6.6%)	181 (1.7%)	36.5%
調整	207	46	
営業外収益	9,256	3,327	56.1%
営業外費用	14,402	△1,377	△8.7%
<b>経常利益</b>	<b>36,301</b>	<b>9,614</b>	<b>36.0%</b>
特別利益	11,023	3,810	52.8%
特別損失	13,423	4,288	46.9%
<b>四半期純利益</b>	<b>23,572</b>	<b>7,516</b>	<b>46.8%</b>

(注) 連結子会社数 59社 1社 (前期末比)  
 持分法適用会社数 6社 1社 (前期末比)

### 運輸成績表《単体》

	当第3四半期累計 (25/12) 実績	前年同期比	
<b>旅客人員(千人)</b>	<b>432,450</b>	<b>2,280</b>	<b>0.5%</b>
定期外(千人)	174,637	4,240	2.5%
定期(千人)	257,813	△1,960	△0.8%
<b>旅客収入(百万円)</b>	<b>112,335</b>	<b>2,930</b>	<b>2.7%</b>
定期外(百万円)	76,527	3,206	4.4%
定期(百万円)	35,808	△275	△0.8%